

## 子どもの周りには危険がいっぱい！

病気も心配ですが、実は乳幼児期の死因のトップは「不慮の事故」です。その多くは周囲の気配りで防ぐことができます。

転落・転倒	ソファやベット、抱っこひもからの転落 ベランダや階段などからの転落
やけど	炊飯器や加湿器の蒸気にさわる、アイロン・ストーブにさわる、ポット・鍋をひっくり返す
おぼれる	浴槽に落ちる
誤飲・中毒・窒息	たばこ・医薬品・化粧水・洗剤・コイン・豆・ボタン電池などを誤って飲み込む
交通事故	道路への飛び出し

### ○子どもの事故防止支援サイト～子どもに安全をプレゼント～

事故やけがの対処法や事故防止のためのチェックリストが提供されています。ご家庭の中をチェックしてみましょう。

子どもの事故防止  で検索

### ○毒性の高いもの（薬・化学薬品など）を飲み込んでしまったら

中毒 110 番(日本中毒情報センター) ※通話料がかかります  
つくば中毒 110 番:029-852-9999 (365 日 9 時から 21 時)  
大阪中毒 110 番:072-727-2499 (365 日 24 時間)  
たばこ専用電話 :072-726-9922 (365 日 24 時間)

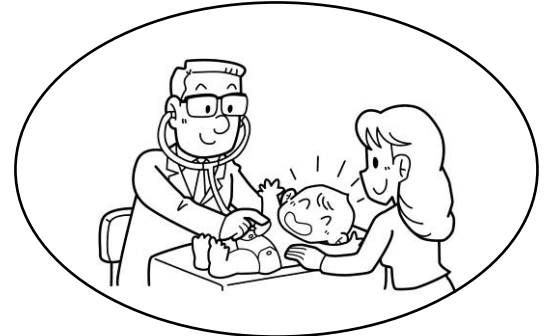
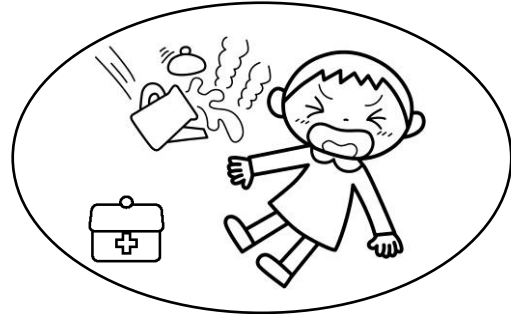


子ども支援センターすてっぴ 21 大和田  
TEL 047-486-7455  
母子保健課(八千代市保健センター内)  
TEL 047-486-7250

八千代市イメージキャラクター「やっち」

2018 年 4 月改訂

## 子どもの健康&安全 チェック



### ★ここがポイント★

## 子どもの体調チェック！

子どもの健康管理の基本は、「いつもと違う状態」に親が気付いてあげること。その為には「いつもの状態」を把握しておくことが大切です。

### 1. 子どもの平熱を知っておきましょう

まずは子どもの平熱を知っておきましょう。  
2～3 日、同じ時間帯など近い条件で体温測定をして把握します。

### 2. 子どもの様子をよく見てあげましょう

下記を参考に、体調チェックをしましょう。熱だけでは、病状の重さは判断できません。子どもは言葉で十分伝えられないので、親がよく見てあげることが大切です。

- ◆ 機嫌よくしていますか？
- ◆ 顔色・表情はいきいきしていますか？
- ◆ 元気に体を動かしていますか？
- ◆ 食欲はありますか？
- ◆ おしっこやうんちの色・回数・においはいつも通りですか？



## 病院を受診するか迷ったら…

### ○こどもの救急ホームページ～ONLINE QQ～

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。症状を入力すると、お子さんの症状にあわせた対処方法が表示されます。生後 1 か月から 6 歳までのお子さんが対象です。

<http://www.kodomo-qq.jp/>

子どもの救急  で検索

### ○こども急病電話相談

夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話相談ができるものです。

相談日時：毎日 19:00～翌朝 6:00

電話番号：プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、

局番無しの #8000

ダイヤル回線、IP 電話、光電話からは、

043 (242) 9939



## かかりつけの医師を

病気や健康診査、個別に受ける予防接種など、かかりつけの医師がいれば、適切な時期にその子に応じた診療や指導がうけられますし、急の時にも良い相談相手になってもらえます。家の近所で、信頼できるかかりつけの医師を決めておくといいでしょう。